

ふれあし広場

このページは市民の皆さんと一緒に作るページです。投稿・登場をお待ちしています。秘書広報課（市役所内線3052）

クローズアップ

今、「旬」の人や団体を紹介します。

人の役に立つ「ものづくり」を続けたい

IT（情報技術）で実現する未来の社会や新たなサービスへの夢を語る「U18-IT夢コンテスト2021」で、誰もが使える移動支援機器を提案した中学1年生の西山昂毅さんは、高校生ばかりが参加する最終審査で、優秀賞を獲得しました。

システム構築や災害対策ロボットの提案など、さまざまなものづくりに取り組んできました。今回、神奈川県立工科大学が開いた同コンテストで、車いすとパーソナルモビリティ（一人乗りのコンパクトな移動支援機器）を掛け合わせた「EXCEED」を提案。エクシードは障害者と健常者の概念をなくす乗り物で、自身が足を骨折し、車いすを使う生活をした経験から思い浮かんだといいます。発案から約2年後、通信機器で混雑や事故を回避したり、街中で充電できたりする機能を追加し、3カ月でその姿は完成。初めて3D・CADを使って考案したエクシードは、誰一人取り残さない社会を目指すSDGs（持続可能な開発目標）の理念にも沿って、西山さんの「あったらいいな」という夢とアイデアがたくさん詰まっています。



乗り物でもバリアフリーが行きわたる社会を提案
兵庫教育大学附属中学校1年
西山 昂毅さん

西山さんの将来の夢はエンジニア。「今は自宅からいろいろな体験ができる遠隔操作ロボットを考案中」と話しました。

市民の皆さんのまちづくり活動を紹介します

みんなでまちづくり

津万地区自治協議会 稲垣絵手紙教室「絵手紙展」

津万地区自治協議会では、1人暮らしの高齢者の方々に絵手紙をお届けし、安否確認を行う活動を行っています。人と人をつなぐ絵手紙の魅力を伝える作品展を開催します。

- ▼とき 11月2日（火）～30日（火）の開館日
- ▼開館日 火・水・木曜日 午前9時～正午、午後3時～5時 / 日曜日 午前9時～正午
- ▼ところ みんなの家「あじさい」（嶋317番地）
- ▼問合せ 津万地区自治協議会（☎38-8220）

比也野里～未来へ繋ぐ写真展～

ふるさとの風景を写真で振り返りませんか。昔の暮らしや文化に触れることで地域への愛着を深め、ふるさとの良さを再確認しましょう。

- ▼とき 11月28日（日）～12月4日（土） 午前10時～午後4時（最終日は午後3時まで）
- ▼ところ 関合せ こみせん比也野（☎24-0120）

いきいきにしわきっ子



坂本 みこと 瑞寿 11カ月
たける 尊琉 5歳2カ月
兄弟仲良く大きくな～れ
伸之・久美代（野村町）

いきいきにしわきっ子を募集しています。写真と紹介文、連絡先を市役所秘書広報課へ郵送またはご持参ください。

地域に信頼される良質な医療を提供します

西脇病院

〒677-0043
西脇市下戸田 652-1
☎22-0111 ☎23-0699

実施中 新型コロナ院内感染防止対策

- ・マスク着用と自宅での検温
 - ・全入院棟への入館を禁止
- にご協力ください

新しい医師を紹介します

地域の皆さまの期待に応えられるよう、精いっぱい取り組みます。

内科医員
吉治 誠
まだまだ未熟ですが、精いっぱい頑張ります。

内科医員
伊藤 彩希
地域に貢献できるよう、精いっぱい頑張ります。

健康バンザイ 183

病理診断科部長
大西 隆仁

業務 病理診断科の「4つ」の

「病理診断」という言葉は、5年前に放送されたドラマ

小児科全般、特に腎臓が専門です。子育てで不安なことと一緒に考えていきましょう。

小児科部長
森 一越

ひだまりサロン

- ▼とき 11月24日（水）午後1時～3時 / 要申し込み
- ▼対象 がん体験者とその家族
- ▼内容 交流会と作業療法士のミニ講座（インターネットを利用して自宅から参加）
- ▼申込方法 前日までにメール（タイトルは「ひだまりサロン参加希望」）で左記へ
- ▼申込み・問合せ がん相談支援センター（病院内線331）itiki@nshp.jp

「フラジャイル」で長瀬智也さんが病理医を演じ、有名になりました。実際の病理診断業務は、大きく4つあります。

- ①病理診断 内視鏡検査や皮膚の生検、胃や大腸、乳腺などの手術で採取された組織を顕微鏡で調べ、良性か悪性を含めて診断します。良性であれば、炎症による反応か、良性の腫瘍かを診断し、悪性であれば、悪性度を含めてがん

か肉腫かを診断します。さらに、手術で悪性病変が取り切れたかを判定します。

- ②術中迅速診断 当院では外科や脳外科の手術で迅速診断をよく行います。この診断は病変が良性か悪性か、病変が確実に採取されたか、また、切除する範囲を決める場合に、手術の方法を決定する重要な判断となります。組織が病理診断科へ提出されてから

約15分で診断します。

- ③細胞診 甲状腺や乳腺、喀痰、尿、子宮、腹水、胸水などから採取された細胞の良性・悪性を、顕微鏡で判定。当院には細胞診の資格を持つ検査技師が4人在籍します。
- ④病理解剖 不幸にも治療の末に病院で亡くなった場合、解剖によって死亡原因の究明、病気の状態・診断と治療効果を判定します。

患者総合支援センター「相談支援課」はこんなところ 患者・家族に寄り添う支援を実施

病気やけがが原因で、心や体に障害が残ったり、生活の不安や心配事が生まれやすくなるのではないのでしょうか。

- 例えば、
- ①通院や入院に伴う医療費について知りたい
 - ②違う病院の医師の意見を聞きたい
 - ③往診できる開業医を知りたい
 - ④介護サービスの内容を知りたい
 - ⑤がんの治療や受けられる支援を知りたい
 - ⑥がんの悩みや体験談を聞いてみたい

など、①～⑥のようなことがあるときは、ぜひ、相談支援課が担当する「患者相談窓口」や「がん相談支援センター」をご利用ください。西脇病院に通院されていない方の相談にも応じます。

◆問合せ
患者総合支援センター相談支援課（病院内線 339）